



THE BELLCLASSIC
Group

ベルクラシックは、つながりという奇跡を永遠に慈しむ、
心からのホスピタリティをお約束します。

Aya na ture
presented by AYANA SAKAI

image
AYA0105 Off-White



第 108 回定期演奏会

同志社グリークラブ



<http://www.bellclassic.co.jp>

ベルクラシック

検索



2012. **12.15** (土)
京都コンサートホール 大ホール

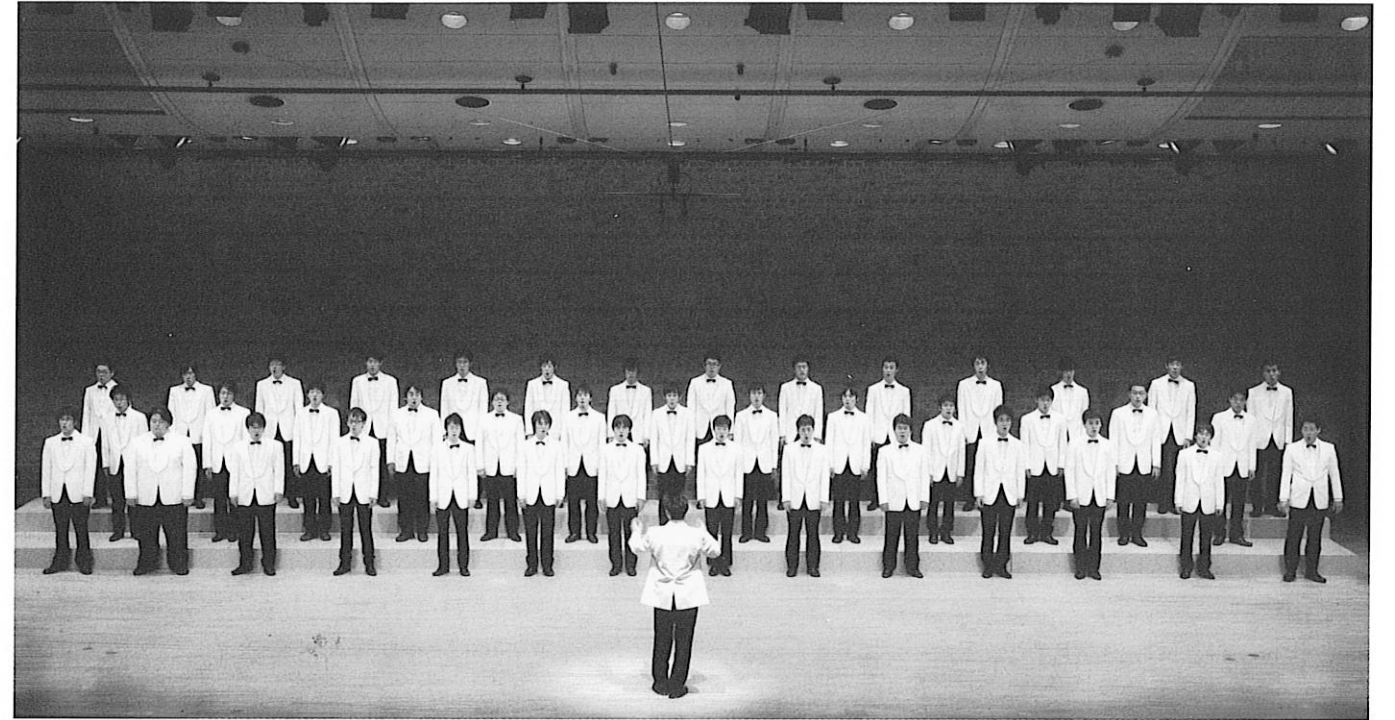
Doshisha College Song

W. M. Vories Carl Wilhelm

One purpose, Doshisha, thy name
 Doth signify one lofty aim;
 To train thy sons in heart and hand
 To live for God and Native Land.
 Dear Alma Mater, sons of thine
 Shall be as branches to the vine;
 Tho' through the world we wander far and wide,
 Still in our hearts thy precepts shall abide!

Still broader than our land of birth,
 We've learned the oneness of our Earth;
 Still higher than self-love we find
 The love and service of mankind.
 Dear Alma Mater, sons of thine
 Would strive to live the life divine;
 That we may with increasing years have stood
 For God, for Doshisha, and Brotherhood!

～ 第108回同志社グリークラブ定期演奏会 ～



御挨拶



同志社グリークラブ 幹事長 村瀬 匡貴

本日はお忙しい中、第108回同志社グリークラブ定期演奏会にお越し下さいまして誠にありがとうございます。今年は久しぶりに京都コンサートホールでの開催となりました。素晴らしいホールで演奏することが出来るのも皆様からの温かい御理解と御支援があったからであり、部員を代表致しまして厚く御礼申し上げます。

多様な学生が集まる同志社グリークラブは、様々な思いが交差する場でもあります。歴代の先輩がそうであったように、時にぶつかり、時に共鳴する一人一人の個性は、常にクラブを突き動かす原動力となってきました。

今年は部員数も50名を超え、活気に満ちた日々を多くの仲間と共有することが出来ました。しかしそれは、変動するクラブを見つめ直し、試行錯誤を重ねることでありました。部員一人一人が求め、問い続けた同志社グリークラブの音楽が本日御来場下さった皆様の心と一体となり、離れることのないものとなりましたら幸いです。

最後になりましたが、これまでご指導下さいました諸先生方、日頃より現役部員を温かく見守って下さる諸先輩方をはじめ、この演奏会に関わって頂きました皆様方に心より御礼申し上げます。私の御挨拶とさせていただきます。本当にありがとうございました。

それでは皆様、どうぞ最後までごゆっくりお楽しみ下さい。

1st Stage

男声合唱とピアノのための『新しい歌』

■作 詩／フェデリコ・ガルシア・ロルカ ほか
 ■作 曲／信長 貴富
 ■指 揮／藤井 研二郎
 ■ピアノ／松井 萌

1. 新しい歌
2. うたをうたうとき
3. きみ歌えよ
4. 鎮魂歌へのレクイエム
5. 一詩人の最後の歌

2nd Stage

男声合唱とピアノのための組曲『雨ニモマケズ』

■作 詩／宮沢 賢治
 ■作 曲／千原 英喜
 ■指 揮／伊東 恵司
 ■ピアノ／萩原 吉樹

1. 告別 (1)
2. 告別 (2)
3. 野の師父
4. 雨ニモマケズ

-INTERMISSION-

3rd Stage

Christmas Around the World!

■指 揮／伊東 恵司
 ■パーカッション／森本 瑞生

1. When The Saints Go Marchin' in
2. Stille Nacht, heilige Nacht
3. Jõuluõhtul
4. Betelehemu
5. Feliz Navidad
6. まきびとひつじを

4th Stage

男声合唱曲『永訣の朝』

■作 詩／宮沢 賢治
 ■作 曲／鈴木 憲夫
 ■指 揮／浅井 敬壹
 ■ピアノ／藤澤 篤子



学校法人同志社 総長 大谷 實

第108回同志社グリークラブ定期演奏会が、京都コンサートホール大ホールにおいて盛大に開催されますことを心からお慶び申し上げます。

ご案内のとおり、同志社グリークラブは、1904(明治38)年の創部以来の歴史と伝統を有し、常に精力的に合唱活動を行ってきた同志社きっての名門クラブであります。今年度も第61回東西四大学合唱演奏会への参加や第67回関西合唱コンクールでの金賞受賞など、精力的に活動されています。

去る10月13日、青森県風間浦村で行われた「同志社創立者新島襄先生寄港の地碑」碑前祭ならびに学校法人同志社・風間浦村交流20周年記念式典においても、彼らは心に響く豊かな歌声を聞かせてくれたところでもあります。本日の演奏会においても、創部108年の歴史と伝統がかもし出すGleeful Moodを、心ゆくまで堪能いただけるものと確信しております。

今宵の合唱が、ご来場の皆様の心に深く響き渡り、神の恵みが豊かにありますようお祈りいたします。



同志社大学 学長 八田 英二

このたび、第108回同志社グリークラブ定期演奏会が盛大に開催されますことを心からお慶び申し上げます。

同志社グリークラブは今年で創部108年目を迎える、長い歴史と伝統を持ったクラブです。本年度も、第67回関西合唱コンクール金賞受賞、第64回全日本合唱コンクール出場、全同志社メサイア演奏会出演など、精力的な活動を行っております。

もちろん、このような輝かしい活動の裏には、日々の地道な努力が必要不可欠です。本日は、日頃の成果を存分に発揮し、素晴らしい歌声を披露していただきたいと思います。そして、聴衆の皆様にも夢や感動をお届けすることができれば、これに勝る喜びはございません。

最後となりましたが、お忙しい中ご来場いただきました観客の皆様をはじめ、常日頃より部員の活動を支えていただいております諸先輩ならびに関係者の皆様に厚くお礼申し上げます。本日の演奏会の成功と同志社グリークラブの益々の発展を心より祈念いたしまして、私の挨拶とさせていただきます。

同志社グリークラブ 顧問 岸 基史



本日は第108回同志社グリークラブ定期演奏会にご来場いただきまして、誠にありがとうございます。

今年の定期演奏会は第108回目となります。しかし、第一義的には定期演奏会が何回目であるかということは重要ではありません。言うまでもなく、その時々々の現役グリーンメンがその青春をグリークラブの活動に叩き付け、その成果を精一杯に発表することに意味があるからです。このような定期演奏会の1回1回の積み重ねが、伝統を醸し出すのだと思います。

昨年は東日本大震災、台風12号、原子力発電所事故などの大きな災害に見舞われ、その中で、改めて人と人の繋がりの大切さを思い知らされた一年でした。今年の定期演奏会は、これまで以上に人々に感動を与え、人と人の絆を深めるような、そういう演奏会を目指しています。

ともあれ、ご来場の皆様には本日の演奏を心ゆくまでお楽しみいただきたいと思います。

同志社グリークラブOB会 理事長 芦田 直幸



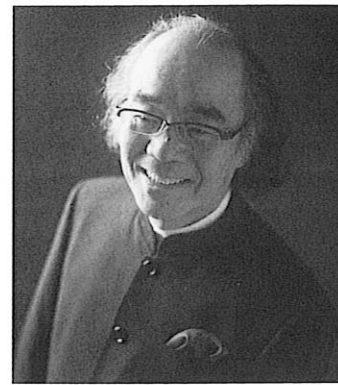
本日は師走のお忙しい中を同志社グリークラブ第108回定期演奏会にご来場いただき、誠にありがとうございます。

同志社グリークラブは、1904年に同志社の神学部生を中心に讃美歌の合同練習を始めたときを起源とし、本年で創立108年を迎えます。この間、同志社グリークラブは、良心の全身に充滿した多くの卒業生(OB)を各方面に輩出して参りました。その中でも、我々が敬愛し、誇りに思うお二人のOBに現役の定期演奏会で指揮をしていただきますことは、この上ない喜びであります。

そのお二人とは、かたや文字通り「合唱音楽界の首領」現全日本合唱連盟理事長であられる浅井敬壹先輩。こなた超売れっ子の合唱指揮者で近年は作詞や音楽イベントのプロデューサーとしても多彩な才能を発揮されている現役技術顧問の伊東恵司さん。

そして、お二人の指揮に現役諸君がどう応えてくれるのか。興味は尽きません。

今夜ばかりは、聴衆のひとりとして心ゆくまで男声合唱の世界に浸りたいと思います。



◇客演指揮者 浅井 敬壹

同志社大学在学中、186名を抱える同志社グリークラブ第31代指揮者を務め、卒業後の12月「千年の古都・京都に世界一の合唱団を」の理想を掲げ「合唱団京都エコー」を結成。

全日本合唱コンクールに於いて、合唱団京都エコー(20年連続金賞受賞)、住友金属混声合唱団(13年連続金賞受賞)を率い、金賞受賞は合計38回、うちコンクール大賞(部門を越えて最も優れた団体に贈られる)を6度受賞。現在、合唱団京都エコー、住友金属混声合唱団、法政大学アカデミー合唱団、同志社混声合唱団こまくさ、女声合唱団かがやき他、多くの合唱団を指揮。その他、客演や合唱講習会の講師、コンクール審査員としても多忙を極めている。

現在、福島県しゃくなげ大使、全日本合唱連盟理事長、全日本合唱センター館長、日本合唱指揮者協会相談役、国際合唱連合(IFCM)理事。

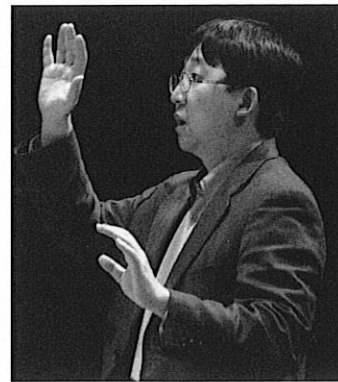
同志社グリークラブを指揮できる。こんな嬉しいことはありません。

伊東恵司先生が配慮くださったのか、現役4回生幹部が浅井を呼ぼうとしてくれたのか、私の中で、同グリーを振れるとはまったく思ってもみなかったのが、誘いをいただいた時は本当に驚き、嬉しくなりました。同志社グリークラブを卒業してちょうど50年になる今年に。

54年前、66人の仲間と入部し、4月から7月まで御所でコールキューブゲンの練習、夏には23日間東日本へ31ステージ、春は西日本へ2週間の演奏旅行。3回生から第31代指揮者に就任し、186名の仲間と音楽した思い出、そして福永陽一郎先生に技術顧問をお願い素晴らしい音楽をいただいたことが、何より嬉しい思い出されます。

今日、私が指揮する曲は、宮沢賢治の「永訣の朝」です。宇宙に昇華されゆくその刹那を、兄と妹の、愛と涅槃の、二相系を、私の最も信頼するピアニスト・藤澤篤子先生に支えていただいで、全国大会で見事銀賞を勝ち取った現役諸君と表現したいと思います。音楽に導かれ、本物の演奏ができますよう、天に祈りたいと思います。

本日は御来場いただき、誠に有難うございます。



◇指揮者 伊東 恵司

京都市在住。1990年同志社大学を卒業(ポストモダン芸術論を専攻)。同志社グリークラブ学生指揮者として福永陽一郎に師事。'90年以降多数の合唱団で合唱指導を開始。'99年から出場した全日本合唱コンクールでは「なにわコリアーズ」の10年連続金賞を始め複数の合唱団で17個の金賞を受賞。現在は、全国各地で審査員や合唱指導を引き受けるほか、「アルティ声楽アンサンブルフェスティバル(京都)」「コーラスめっせ(大阪)」「オール新作コンサート」等の新規合唱フェスティバルの主催や、学生指導者合宿・市民参加型合唱劇や世代間を取り結ぶ「京都のわらべ歌プロジェクト」の企画等、合唱を使った多彩な仕掛けを行っている。また、合唱曲の作詞家としても多数の作品が出版され、広く各方面から注目を浴びている。

2012年「学生合唱のためのチューデントソングブック」(カワイ出版・共編著:名島啓太)を上梓。大阪府・京都府合唱連盟理事、日本合唱指揮者協会関西支部事務局次長、21世紀の合唱を考える会 合唱人集団「音楽樹」会員。ホームページは<http://www.yumemirusakananoabuku.jp/>

演奏会に寄せて

私とともに金賞を目指してチャレンジした全国大会では、残念ながら銀賞にとどまった今年の同志社グリークラブでしたが、嬉しいことに定期演奏会では京都コンサートホールの大舞台に戻ってきました。そして、もうかれこれ10年以上見たことのない50人を超えるメンバーで舞台上に立つことが出来ます。なんと素晴らしいことでしょうか。4学年合わせても20人台や30人台前半しかいなかった時期に頑張ってくれた先輩たちの努力を含め、今年の4回生をはじめとする現役グリークラブの一生懸命の頑張りや敬意を表したいと思います。

さて、今年は大変ご多忙な中、私たちの誇る偉大な先輩でもあり、全日本合唱連盟理事長を務めておられる浅井敬壹先生をお迎えすることが出来ました。きっと学生たちは情熱とばしる演奏をしてくれることでしょう。私のほうは千原英喜先生の人気作品「雨ニモマケズ」の男声合唱版の初演をさせていただくことになっています。4回生から下回生へのメッセージととれるこの作品の練習を通して、グリークラブの連綿と続く魂のようなものに思いを馳せることが出来ました。108回を数える定期演奏会ですが、私たちには究極的には守るべき伝統的スタイルなどないのだと思います。そんなことはどうでもよくって、あるとしたら、ひたむきに歌うこと、しかも熱く熱く熱く歌うことのみなのではないでしょうか。この魂を引き継いでくれている今年の同志社グリークラブの精一杯の演奏をお聞きください。

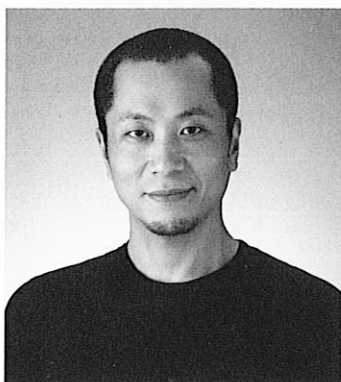


◇ピアノ(第四ステージ) 藤澤 篤子

相愛女子大学(現 相愛大学)音楽学部器楽科ピアノ専攻卒業。
故武田邦夫、故井口基成、志賀宗三郎の諸氏に師事。管弦楽とピアノの為のカプリチオ(メンデルスゾーン)、四台のピアノ協奏曲(パッサ)、デュオコンサート等に出演の他、多くの声楽家、合唱団と、リサイタル、コンクール、CD録音等で共演。東芝EMIより「日本の四季」「方舟」、BMGビクターより「風に鳴る笛」等のCDでピアニストとして演奏。2002年2月に開催された『サウンド・ルート2002日本⇄ロシア』にて、高嶋みどり作曲《マウイの風 ピアノのための》を初演し好評を得た。2005年7月京都で行われた世界合唱シンポジウムにてJürgen Faßbender氏と、2011年9月京都にてBob Chilcott氏と共演。また日本のみならず海外での公演も数々行う。

これらの業績は、彼女の確かなテクニク、深い音楽性、優れたアンサンブル能力なしには考えられない。繊細かつ大胆、そして多彩な音色が合唱世界を広げ、淀みのない流れは音楽の説得力を増す。それゆえ、彼女に伴奏してもらった誰もが、愛情あふれる温かなピアノに包まれて、至福の時を過ごす。そして、その音楽に触れた多くの指揮者や作曲家が彼女に絶大な信頼を寄せる。

1992年長井賞、2008年藤堂賞 受賞。



◇ピアノ(第二ステージ) 萩原 吉樹

12歳よりピアノを始める。滋賀県立石山高校音楽科、京都市立芸術大学音楽学部ピアノ専修卒業。ワイオミング州立大学大学院より奨学金を受け、同研究科に2年間在籍。同大学院にてPerformer's Certificate(演奏家証書)を取得。帰国後、京都市立芸術大学大学院音楽研究科修士課程修了。ソロ、歌曲伴奏、室内楽、オーケストラ鍵盤楽器奏者として活動中。

ワイオミング大学コンチェルトコンクールに入賞、ヒルトンヘッド・アイランド国際ピアノコンクール(米国)にてディプロマ賞を受賞。京都市音楽使節団に選出され中国(西安)を訪問し音楽界を催す。平和堂財団より新進芸術家奨励賞を受賞。ピアノを椿久美子、田隅靖子、ゲアリー・スマートの各氏に師事。パイプオルガンをメアリー・ジョーンズ氏に師事。1999年～2011年「(財)神戸市演奏協会」神戸市混声合唱団ピアニスト。現在、滋賀県立石山高等学校音楽科、大阪府立視覚支援学校音楽科、京都女子大学非常勤講師。



◇ピアノ(第一ステージ) 松井 萌

京都市立音楽高等学校、同志社女子大学卒業。新島賞受賞。京都市立芸術大学大学院修士課程修了。仙田緑、鶴田裕子、古新薫、阿部裕之、谷千鶴、松田康子、坂井千春の各氏に師事。2001年京都ピアノコンクール本選D部門銅賞、第二回大阪国際音楽コンクールピアノ部門高等学校の部奨励賞、第11回日本クラシック音楽コンクール兵庫地区本選高校の部ピアノ部門好演賞、第7回シヨパンの会(祝・21世紀)コンクールピアノ演奏部門Cクラス奨励賞。2009年青山音楽記念館にてソロ・リサイタルを開催。松井彩との姉妹デュオ(Piano duo Sonare)にて、第4回かやぶき音楽堂デュオコンクール第2位。京都音楽家クラブ、日本音楽表現学会会員。京都橘大学TA、平安女学院大学嘱託講師(ピアノ)、京都市立芸術大学音楽学部音楽教育研究会「京都子どもの音楽教室」特別研究員。



◇パーカッション(第三ステージ) 森本 瑞生

兵庫県立西宮高等学校音楽科出身。打楽器と10才の頃より親しむ。今までに越川雅之、葛西友子、山本毅、名倉誠人、小森邦彦、堀内吉昌各氏に師事。現在京都市立芸術大学音楽学部3年生。



◇ヴォイストレーナー 北村 敏則

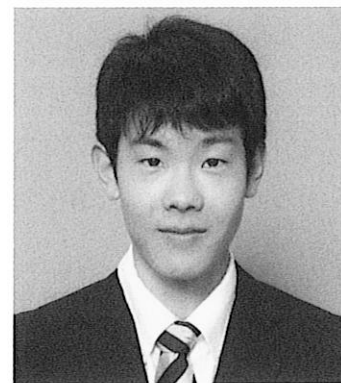
京都市立芸術大学声楽専攻卒業。同大学院修了後ウィーン留学。音楽学部賞及び大学院賞を受賞。第2回日本シェーベルト協会(J.S.G)国際歌曲コンクール第1位および聴衆審査特別賞受賞。第6回ボルツァーノ(北イタリア)歌曲コンクール第1位及びアダ・ヴェルバ賞受賞。第1回青山音楽賞、京都市芸術新人賞受賞。現在、京都市立芸術大学准教授、関西二期会会員、日本シェーベルト協会会員。



◇ヴォイストレーナー 石原 祐介

崇徳高校、京都産業大学に在学中はグリークラブに所属し、男声合唱にあけくれる青春時代を過ごす。その後、京都市立芸術大学、同大学院声楽専攻を卒業、修了。卒業時に音楽学部賞を受賞。第21回飯塚新人音楽コンクール第2位。

World Youth Choir 1997～1999、World Chamber Choir 2009 日本代表メンバー。声楽を瀧井誠、山口はやとの各氏に、合唱指揮を吉村信良氏に師事。現在、神戸市混声合唱団に所属。京都市立芸術大学非常勤講師。日本合唱指揮者協会会員。



◇第80代学生指揮者 藤井 研二郎

1990年12月5日、京都府生まれ。同志社グリークラブ第80代学生指揮者。京都府立西城陽高等学校在学中より合唱を始め、同合唱部定期演奏会における「マスおさん」役などで好評を博す。高校卒業後、同志社大学グリー学部ベース学科(経済学専攻)に入学。入学当初より上回生と一緒に勧誘活動を行っており、その能力の高さは早くから認識されていた。また、綿密な「5ヶ年計画」を建て、学生指揮者としての1年をクラブのために捧げるなど、団への愛は強い。

2012年2月のフェアウェルコンサートにおいて『新しい歌』を指揮し、学生指揮者として鮮烈なデビューを飾る。その指揮から紡ぎ出される音楽は、端正であり、かつ力強い。普段の練習では厳しい面も多いが、それは合唱への飽くなき探究心からであり、「音楽への妥協無き姿勢」は彼の信念の一つでもある。

彼の「音楽への妥協無き姿勢」がどのように結実しているかは、今宵、皆さんの耳で確かめていただきたい。

第1ステージ

男声合唱とピアノのための『新しい歌』

■作詩 / フェデリコ・ガルシア・ロルカ ほか
 ■作曲 / 信長 貴富
 ■指揮 / 藤井 研二郎
 ■ピアノ / 松井 萌

◆『新しい歌』について

《新しい歌》は、2000年5月3日に東京六大学合唱連盟定期演奏会の合同演奏で初演された。この組曲では「うた」をテーマとする5つの詩がテキストに使われている。作曲者は、作曲に際し『合唱曲が、あるいは合唱という媒体が、「うた」としての力を真に持ち得るかということへ、私なりに挑戦したつもりである』と述べている。演奏者である我々は、その果たし手となれるよう、力を込めて自由自在に歌いきりたい。作曲者と対峙し各作品の精神世界へ迫っていければと思う。

◆曲目解説

I. 新しい歌

スペインの詩人、ガルシア・ロルカの詩をテキストとした作品。エンターテインメント性に優れ、このうえない喜びに満ち溢れた歌がそこにはある。

II. うたを うたう とき

まど・みちおのひらがなで書かれた詩が静謐の中からゆっくりと立ち昇る。やがて音楽が集約された響きまで高まり、その後、また静かなおさまりへと立ち戻る。全曲中、唯一の無伴奏合唱。

III. きみ歌えよ

柔らかなことばつきで「きみ」に語りかける歌。しかし、曲の終盤からは強い決意と覚悟を感じ取ることができる。もし自己を全て出しきって歌うことができたのなら「誰かがいつか耳します」。

IV. 鎮魂歌へのリクエスト

Jazzyなピアノとブルースのリズムにのったコーラスが奔放で伸びやかに演奏される。ヒューズの詩を訳した木島始は信長貴富にとって重要な人物であることに間違いはない。

V. 一詩人の最後の歌

童話作家として世界中の人々に愛されるアンデルセンの詩がテキスト。魂の浄化が成され、神への感謝が旋律となって清らかに歌われる。最後、魂は「永遠の夏の方」へ到達し、精神が昇華され恍惚の境地へと至る。

(同志社グリーンクラブ学生指揮者 藤井研二郎)

◆歌詞

I. 新しい歌 F.G.ロルカ
 長谷川四郎 訳 詩

昼過ぎが言うー影を飲みたい！
 月は言うー飲みたいのは星の輝き
 澄み切った泉は唇をもとめ
 風がもとめるのはため息

匂い 笑い 新しい歌
 これがほくの飲みたいものだ
 月だとかユリの花だとか
 死んだ愛などから自由な歌だ
 あすともなれば一つの歌が
 未来の静かな水面をゆさぶり
 そのさざ波とぬかるみを
 希望でふくらませよう

光り輝いておちついて
 思想に満ちた一つの歌
 悲しみや苦しみやまぼろしに
 まだよこれていない一つの歌

叙情的な肉体なしに
 笑い声で静寂を満たす歌だ
 未知のものへと放たれた
 めくらのハトの一群だ
 もろもろの物 もろもろの風
 その中心にせまる歌だ
 とこしえの心の喜びに
 最後にはやすらう歌だ

II. うたを うたう とき まど・みちお 詩

うたを うたう とき
 わたしは からだを ぬぎすてます
 からだを ぬぎすてて
 ころろ ひとつに なります

ころろ ひとつに なつて
 かるがる とんでいくのです
 うたが いきたい ところへ
 うたよりも はやく
 そして
 あとから たどりつく うたを
 やさしく むかえてあげるのです

III. きみ歌えよ 谷川俊太郎 詩

きみ歌えよ
 哀しいこと じつじつと
 ひとりで歌えよ
 あのひとつの名を大声で
 歌えば 歌えば 歌えば ああ
 うその涙は出てこない

きみ歌えよ
 嬉しいこと 好きなこと
 ひとりで歌えよ
 バカも卑怯もまるだして
 歌えば 歌えば 歌えば ああ
 ベートーヴェンも友だちさ
 きみ歌えよ
 きみのこと 洗いざらい
 ひとりで歌えよ
 こわれたギター抱きしめて
 歌えば 歌えば 歌えば ああ
 誰かがいつか耳します

IV. 鎮魂歌へのリクエスト L.ヒューズ 詩
 木島 始 訳

《セント・ルイス・ブルース》を演つてくれ
 死んだら ほくののために
 すばらしい 音楽が 欲しいんだ
 あそこ 空の高みでは

《セント・ジェームズ病院(インファーマリ)》を歌つてくれ
 ぼくを うめるときには
 何故つて そこいらで ぼくみたくに
 いい奴が 置いてけぼりに されることはない。

V. 一詩人の最後の歌 H.アンデルセン 詩
 山室 静 訳

私を高く運んでゆけ、お前、強い死よ
 魂の大きな国へ。
 私は神が私に命じた道を選んだ
 額をまっすぐにあげて。
 私が与えたすべては、神よ、あなたのもの
 どれだけ私の富があるのか、私は知りませんでした。
 私が費やしたものはほんのわずかで、
 私は枝の小鳥のように歌っただけです。

さようなら、鮮やかに赤い一本「本のぼらよ」
 さようなら、お前、いとしいもの！
 ただ私を運んでゆけ、お前、強い死よ
 たとえこの世にあるのが楽しいにせよ！
 ありがとう、神さま、あなたが与えて下さったものために
 死よ、時間の海を越えて飛んでゆけ
 さあ、永遠の夏の方へ。

※傍線箇所は作曲されていません。

第2ステージ

男声合唱とピアノのための組曲『雨ニモマケズ』

■作詩／宮沢 賢治
 ■作曲／千原 英喜
 ■指揮／伊東 恵司
 ■ピアノ／萩原 吉樹

◆雨ニモマケズについて

『告別』『野の師父』『雨ニモマケズ』による合唱組曲である。宮沢賢治の詩の中でもこの三編に特に深い感銘を受ける。いずれも名作の誉れ高く、ずっしりと読みごたえのあるものだ。持てる力と情熱を渾身投入し、名詩に相応しい音楽を生み出そうと強い決意をもって作曲に臨んだ。賢治の世界と対話しながらの創作の日々、書き留められて行くメロディーやハーモニーのひとつひとつに喜びを感じながら、至福の時を過ごした。

『告別』では詩を(1)(2)と二つのテキストに分けて作曲した。(1)と(2)は共通した音楽要素を持つ一続きの楽曲であるが、各々まとまった音楽展開とクライマックスがあり、単独で演奏しても構わないだろう。『野の師父』と『雨ニモマケズ』はそれぞれ独立したピースであるものの、そこに連続したストーリーを思い描いており、コントラストも鮮やかに、両曲あわせて演奏されるのが望ましいと考えている。

■ I. II. 告別

“辛くてそてかかやく天の仕事”―音楽家として生きる試練と無上の幸福感。“すべての才や力や材というものにはひとにとどまるものでない”の人の運命(さだめ)の哀しみのトーンから、やがて“そらいっぱい、光でできたパイプオルガン”の天空に広がる恍惚感へと、歌い手の精神は高揚、飛翔して行くだろう。詩句のひとつひとつに私自身の修行時代や現在(いま)の姿が重なり、大きく頷き、心わななき、感涙の中に曲を書き進めた。

■ III. 野の師父

雷雨に稲や萱穂は倒れ、堤からは水が溢れている。きびしい状況にあって動じることなく、自然の掟にじっと向き合い空と原との気配を聴いている老夫、その孤高の姿が感動的である。森羅万象との一体感のような、何か宗教的な悟りの境地のような、そんな師父の内面を想い、これを抑制された表現の、静謐な無伴奏コーラルの音楽書式で作曲した。私もまた、透き通った一徹な心とたゆまぬ精進で、宇宙(せかい)との調和(ハルモニア)を体感しつつ音楽創作を重ね、熟成して行きたいものだと、祈るように書いたコーラルである

■ IV. 雨ニモマケズ

さぞかし無念だったろう。晩年の病床の中で諦念をもってしたためられた詩・祈りである。賢治は“サウイフモノニ、ワタシハナリタイ”のである。詩の冒頭“雨ニモマケズ、風ニモマケズ”にヴァイタリティを感じてはならないと人は言うかもしれない。しかし私には雨風の中へ勇猛果敢に飛び出し行く賢治の姿が見えるのだ。東に西に人々を励まし歩く声が聞こえて来るのだ。彼の一生を顧みて、つねに企画し、挫折し、また新たに物事をおこす前向きなエネルギーに心打たれる。私は賢治の魂にエールを送ろう。哀憐の調べではなく、勇気奮い立つ響きで彼を讃えよう。そして賢治とともに私は颯爽と山野をかけめぐらさるのだ。Alla Marcia―行進曲風に、生き活きと、アコード(和弦)に力漲らせて。曲は今を生きる皆への応援歌、命の賛歌だ。

2012年7月 千原英喜

(全音楽譜出版社『雨ニモマケズ』より転載)

◆歌詞

I. 告別 (1)

おまへのバスの三連音が
 どんなくあひに鳴ってみたかを
 おそらくおまへはわかっておまい
 その純朴さ希みに充ちたたのしさは
 ほとんどおれを草葉のやうに顛(ふる)はせた
 もしもおまへがそれらの音の特性や
 立派な無数の順列を
 はっきり知って自由にいつでも使へるならば
 おまへは辛くてそてかかやく天の仕事もするだらう
 泰西著名の楽人たちが
 幼齡弦や鍵盤をとって
 すでに一家をなしたがやうに
 おまへはそのころ
 この国にある皮革の鼓器と
 竹でつくった管(くわん)をとった
 けれどもいまごろやうにおまへの年ごろで
 おまへの素質と力をもってあるものは
 町と村との一万人のなかになら
 おそらく五人はあるだらう
 それらのひとのどの人もまたどのひとも
 五年のあひだにそれを大抵無くすのだ
 生活のためにけづられたり
 自分でそれをなくすのだ
 すべての才や力や材といふものは
 ひとにとどまるものでない
 ひとさへひとにとどまらぬ

II. 告別 (2)

云はなかったが
 おれは四月はもう学校に居ないのだ
 恐らく暗くけはしいみちをあるくだらう
 そのあとでおまへのいまのちからがにぶり
 きれいな音の正しい調子とその明るさを失って
 ふたたび回復できないならば
 おれはおまへをもう見ない
 なぜならおれは
 すこしぐらゐの仕事ができて
 そいつに腰をかけてるやうな
 そんな多数をいちばんいやにおもふのだ
 もしもおまへが
 よくきいてくれ
 ひとりのやさしい娘をおもふやうになるそのとき
 おまへに無数の影と光の像があらはれる
 おまへはそれを音にするのだ
 みんなが町で暮したり
 一日あそんでゐるときに
 おまへはひとりであの石原の草を刈る
 そのさびしさでおまへは音をつくるのだ
 多くの侮辱や窮乏の
 それらを噛んで歌ふのだ
 もしも楽器がなかったら
 いゝかおまへはおれの弟子なのだ
 ちからのかぎり
 そらいっぱい
 光でできたパイプオルガンを弾くがいゝ

III. 野の師父(抄)

倒れた稲や萱穂の間
 白びかりする水をわたって
 この雷と雲とのなかに
 師父よあなたを訪ねて来れば
 あなたは縁に正しく座して
 空と原とのけはひをきいてみられます
 日日に日の出と日の入に
 小山のやうに草を刈り
 冬も手織の麻を着て
 七十年が過ぎ去れば
 あなたのせなは松より円く
 あなたの指はかじかまり
 あなたの額は雨や日や
 あらゆる辛苦の図式を刻み
 あなたの瞳は洞よりうつろ
 この野とらのあらゆる相は
 あなたのなかに複本をもち
 それらの変化の方向や
 その作物への影響は
 たとへば風のことばのやうに
 あなたののどにつぶやかれます
 しかもあなたのおももちの
 今日は何たる明るさでせう

この雷と雨との音に
 物を云ふことの甲斐なさ
 わたくしは黙して立つばかり
 松や楊の林には
 幾すぢ雲の尾がなびき
 幾層のつゝみ水は
 灰いろをしてあふれておます
 しかもあなたのおももちの
 その不安ない明るさは
 (一昨年)夏ひでのそらを
 見上げたあなたのけはひもなく
 わたしはいま自信に満ちて
 ふたゝび村をめぐらうとします

IV. 雨ニモマケズ

雨ニモマケズ
 風ニモマケズ
 雪ニモ夏ノ暑サニモマケヌ
 丈夫ナカラダヲモチ
 慾ハナク
 決シテ嘔ラズ
 イツモシヅカニワラツテキル
 一日ニ玄米四合ト
 味噌ト少シノ野菜ヲタベ
 アラユルコトヲ
 ジブンヲカンヂャウニ入レズニ
 ヨクミキキシワカリ
 ソシテワスレズ
 野原ノ松ノ林ノ蔭ノ
 小サナ萱ヅキノ小屋ニキテ
 東ニ病氣ノコドモアレバ
 行ッテ看病シテヤリ
 西ニツカレタ母アレバ
 行ッテソノ稲ノ束ヲ負ヒ
 南ニ死ニサウナ人アレバ
 行ッテコハガラナクテモイ、トイヒ
 北ニケンクワヤソショウガアレバ
 ツマラナイカラヤメロトイヒ
 ヒデリノトキハナミダヲナガシ
 サムサノツハオロオロアルキ
 ミンナニデクノボートヨバレ
 ホメラレモセズ
 クニモサレズ
 サウイフモノニ
 ワタシハナリタイ

第3ステージ

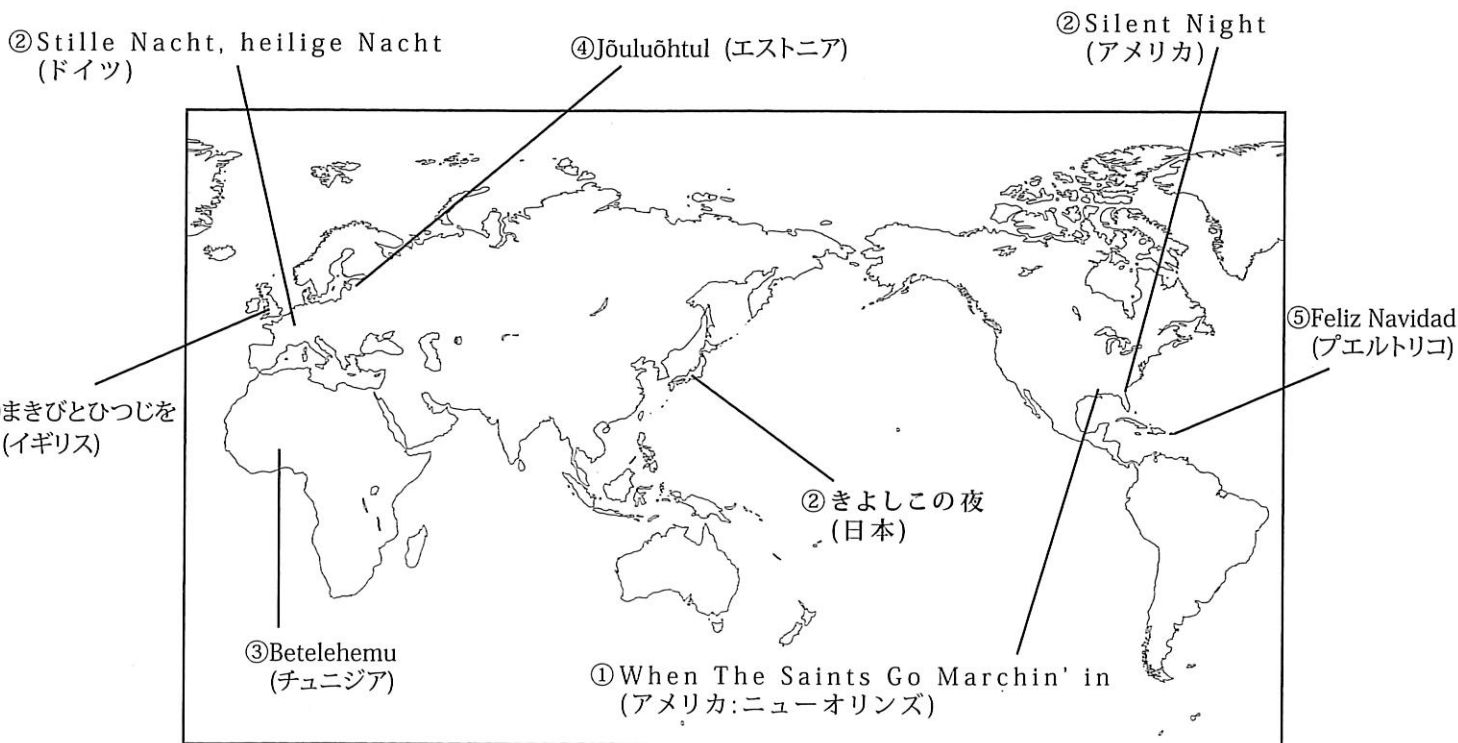
Christmas Around the World!

■指揮/伊東 恵司
■パーカッション/森本 瑞生

◆本ステージについて

第3ステージでは、『Christmas Around the World!』と題して、世界各国のクリスマスソングを取り上げます。普段よく耳にするものから、一風変わったものまで、様々な合唱曲を集めました。どうぞお楽しみ下さい。

- | | |
|--------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------|
| 1. When The Saints Go Marchin' in | 編曲: 石丸寛 |
| 2. Stille Nacht, heilige Nacht
(英: Silent Night)
(日: きよしこの夜) | 作詞: Joseph Mohr 作曲: Franz Xaver Gruber
訳詞: John Freeman Young
作詞: 由木康 |
| 3. Betelehemu | 作曲: Via Olatunji 編曲: Wendell Whalum |
| 4. Jõuluõhtul | 作詞: Milla Krimm 作曲: Ester Mägi |
| 5. Feliz Navidad | 作詞・作曲: José Feliciano 編曲: Tom Gentry |
| 6. まきびとひつじを | 編曲: 松波千映子 |



◆歌詞

1. When the Saints Go Marchin' In

Oh, when the saints go marchin' in,
Oh, I want to be in that number,
When the saints go marchin' in.

【対訳】

おお、聖者が行進して行くときには、
おお、私もその中に入りたい、
聖者が行進して行くときには。

2. Stille Nacht, heilige Nacht

Stille Nacht, heilige Nacht!
Alles schläft, einsam wacht
Nur das traute hochheilige Paa-
Holder Knabe im lockigen Haar.
Schlaf in himmlischer Ruh!
Schlaf in himmlischer Ruh.

【英語】

Silent night, Holy night,
All is calm, all is bright,
Round yon Virgin, Mother and
Holy infant, so tender and mild
Sleep in heavenly peace,
Sleep in heavenly peace.

【日本語】

きよしこの夜
星はひかり
救いのみ子は
まぶねの中に
ねむりたもう
いとやすく

3. Betelehemu

Awa yi o ri Baba gbojule
Awa yi o ri Baba fehinti,
Nibo labi Jesu,
nibo labe bii
Betelehemu ilu ara,
nibe la bi Baba o daju
Iyin, Iyin, Iyin nifun o.
Adupe fun o, Adupe fun o,
Adupe fun ojo oni,
Baba oloreo.
Iyin fun o Baba, Iyin fun o Baba,
Iyin fun o Baba anu,
Baba toda wasi.

【英訳】

We are glad that we have a Father to trust.
We are glad that we have a Father to rely upon.
Where was Jesus born?
Where was He born?
Bethlehem, the city of wonder.
That is where the Father was born for sure.
Praise, praise, praise be to Him.
We thank thee, we thank Thee,
we thank Thee for this day,
Gracious Father.
Praise, praise, praise be to Thee,
Merciful Father.

4. Jõuluõhtul

Vaikne öö, jõuluöö.

Nii ema iial ei laulnud,
kui laulis ta jõuluööl.

Nii säramas enne ei näinud ta silmi
ja põski me veel.

Nii õrnalt ja südamest kostis laul
Jeesusest jõuluööl.

Me hinge see taevasse tõstis
kui ingli tiibade jõul.

Nii pehmelt ei kunagi kõitnud meid
üksteise laul ja jutt.

Me südameid surmani võitnud
laul Jeesusest, jõulujutt.

Vaikne öö, jõuluöö.

Nüüd ema enam ei laula,
kuid südames heliseb veel

meil siiski nii kaudu, kaudu,
laul Jeesusest jõuluööl,

vaiksel ööl, jõuluööl.

【対訳】

静かな夜、クリスマスの夜。
クリスマスの夜に、私のお母さんは
それまで歌ったことの無い様な曲を歌ってくれた。
彼女の瞳と頬はそれまでに見たことの無い様な
輝きだった。

その優しい歌は彼女の心にあるクリスマスの夜の
キリストについての歌だった。

天使の羽根に乗った歌は、私の心を
天に連れて行ってくれた。

他の誰の歌もこのキリストを歌った
静かな歌の様な魅力は無かった。

私の心を感動させてくれたこの歌、
このクリスマスの話、キリストについての歌
静かな夜、クリスマスの夜。

今は私のお母さんはもう歌わない、
けれどそのクリスマスの夜のキリストについて
歌った曲は今も私の心で鳴っている。
静かな夜、クリスマスの夜。

5. Feliz Navidad

Feliz Navidad, próspero año y felicidad.
I wanna wish you a Merry Christmas
from the bottom of my heart.

【対訳】

クリスマスおめでとう、繁栄ある年と幸福を。
本当にクリスマスおめでとう。

6. まきびとひつじを

牧人(まきびと)ひつじを 守れるその宵(よい)、
たえなるみ歌は 天(あめ)よりひびきぬ。
喜びたえよ、主イエスは生まれぬ。

仰(あお)げばみ空に きらめく明星(あかぼし)、
夜屋(よ)さやかに 輝(きら)きわたれり。
喜びたえよ、主イエスは生まれぬ

第4ステージ

男声合唱曲『永訣の朝』

■作 詩／宮沢 賢治
 ■作 曲／鈴木 憲夫
 ■指 揮／浅井 敬壹
 ■ピアノ／藤澤 篤子

◆『永訣の朝』について

賢治の代表作『永訣の朝』は、詩集『春と修羅』におさめられている。

賢治の2歳年下の妹であり、同時に信仰をともにする最大の理解者であったトシ子が病によってこの世を去る。その朝を描いた作品である。賢治の激しい悲しみや、トシ子への想い、賢治に対するトシ子の想いが、淡々と描かれる情景の中に写し出されている。

男声合唱曲『永訣の朝』は、この作品をテキストに用いた合唱曲である。

死にゆく妹に対して何もしてやる事が出来ない無力感を賢治に味わわせぬよう、そして、賢治の「いっしやうをあかるくするために」みぞれをとってくるように頼むトシ子と、妹の願いを叶えるために「くらいみぞれのなかに飛びだし」てゆく賢治。死の淵に立ちながらも、最期まで兄を想う妹と、その想いに応えようとする兄との兄弟愛が、時に激しく、時に優しい音像で描き出されている。

詩全体を賢治の悲しみを表すかのような「蒼鉛いろ」で、「陰惨な雲」が包んでいるが、その中には「兄妹愛」という名の灯りがしっかりと見えている。

最後には、「永訣」の名の通り、トシ子はたった一人であの世へ旅立ってしまう。しかしながら、今度生まれてくるときには自分のことだけでなく、他人のために苦しみたいというトシ子の自己犠牲の願いを受けて、賢治は決意をもって祈り、願うのである。自らの幸福を捧げてでも、トシ子だけではなく、全ての人が幸せであることを。

賢治は敬虔な仏教徒であり、その信仰心は詩の中にも表れている。しかし、信仰に関わらず、本質的な「祈り」の気持ちは人類に普遍的な心情に違いない。

この歌を通して賢治の、そして我々の「祈り」の気持ちが会場の皆さんの心に届かんことを願う。

◆歌詞

永訣の朝

けふのうちに
 とほくへいってしまふわたくしのいもうとよ

みぞれがふっておもてはへんにあかるいのだ
註1(あめゆじゅとてちてけんじゃ)
 うすあかくいっそう陰惨な雲から
 みぞれはびちよびちよふってくる
 (あめゆじゅとてちてけんじゃ)

青い蓴菜のもやうのついた
 これらふたつのかけた陶椀に
 おまへがたべるあめゆきをとらうとして
 わたくしはまがったてっぽうだまのやうに
 このくらいみぞれのなかに飛び出した
 (あめゆじゅとてちてけんじゃ)

蒼鉛いろの暗い雲から
 みぞれはびちよびちよ沈んでくる
 ああとし子
 死ぬといふいまごろになって
 わたくしをいっしやうあかるくするために
 こんなさっぱりした雪のひとわんを
 おまへはわたくしにたのんだのだ
 ありがたうわたくしのけなげないもうとよ
 わたくしもまっすぐにすすんでいくから
 (あめゆじゅとてちてけんじゃ)

はげしいはげしい熱やあへぎのあひだから
 おまへはわたくしにたのんだのだ
 銀河や太陽 気圏などとよばれたせかいの
 そらからおちた雪のさいごのひとわんを……

……ふたきれのみかげせきざいに
 みぞれはさびしくたまっている
 わたくしはそのうへにあぶなくたち
 雪と水とのまっしろな二相系をもち
 すきとほるつめたい雫にみちた
 このつややかな松のえだから
 わたくしのやさしいもうとの
 さいごのたべものをもらっていかう
 わたしたちがいっしょにそだってきたあひだ
 みなれたちやわんのこの藍のもやうにも
 もうけふおまへはわかれてしまふ

註2(Ora Ora de shitori egumo)
 ほんたうにけふおまへはわかれてしまふ
 あああのとざされた病室の
 くらいびやうぶやかやのなかに
 やさしくあをじろく燃えてある
 わたくしのけなげないもうとよ
 この雪はどこをえらばうにも
 あんまりどこもまっしろなのだ
 あんなおそろしいみだれたそらから
 このうつくしい雪がきたのだ

註3(うまれでくるたて)
 こんどはこたにわりやのごとばかりで
 くるしまなあよにうまれでくる)
 おまへがたべるこのふたわんのゆきに
 わたくしはいまところからいのる
 どうかこれが兜卒の天の食に変わって
 やがてはおまへとみんなに
 聖い資糧をもたらすことを
 わたくしのすべてのさいはひをかけてねがふ

註1 あめゆきをとってきてください。

註2 わたしはわたしでひとりいきます。

註3 またひとにうまれてくるときは
 こんなにじぶんのことばかりで
 くるしまないようにうまれてきます。

同志社グリークラブ組織図

■顧問:岸 基史
■技術顧問:伊東 恵司

■ヴォイストレーナー:北村 敏則
石原 祐介
■専属ピアニスト :松井 萌

幹事長 村瀬 匡貴
副幹事長 小瀨 崇裕
内政 村瀬 匡貴
小椋 洋介 (サブ)
外政 (京都) 田中 賢一
高田 秀平 (サブ)
小瀨 崇裕 (サブ)
金澤 陽貴 (サブ)
渡辺 愛 (サブ)
外政 (大阪兵庫) 外山 英寿 (サブ)
外政 (東西四連) 花谷 周平
松井 充基 (サブ)
江川 裕和 (サブ)

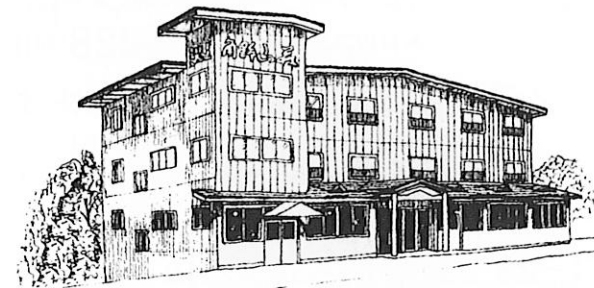
ステージマネージャー 川出正太郎
小松 佑史 (サブ)
全同志社メサイア実行委員 江川 裕和
外山 英寿
主務 小林 聖
資料担当 藤井研二郎
ホームページ担当 花谷 周平
会計 市川 耀
堀角 優一 (サブ)
伊藤 見大 (サブ)
澤田 拓弥 (サブ)

第80代学生指揮者 藤井研二郎
学生副指揮者 長谷川裕也
トップテノールパートリーダー 白石 和之
長谷川裕也 (サブ)
セカンドテノールパートリーダー 大田 駿介
松本 瞬 (サブ)
バリトンパートリーダー 池田 恭平
奈須 浩泰 (サブ)
ベースパートリーダー 藤井研二郎
荒木 泰人 (サブ)

TOP TENOR	SECOND TENOR	BARITONE	BASS
白石 和之 (法4・千種)	川出正太郎 (理工4・名古屋市立北)	池田 恭平 (法4・向陽橘香館)	藤井研二郎 (経済4・西城陽)
田中 賢一 (法4・鷺谷)	大田 駿介 (経済4・洛南)	村瀬 匡貴 (文4・華陽)	花谷 周平 (商4・自由学園)
小椋 洋介 (法3・河瀬)	松本 瞬 (法3・野田学園)	堀角 優一 (理工3・鞍手)	荒木 泰人 (法3・彦根東)
長谷川裕也 (法3・尼崎市立尼崎)	外山 英寿 (理工3・聖隷クリストファー)	市川 耀 (理工3・津)	江川 裕和 (経済3・春日丘)
鈴木 寛弥 (理工2・黒沢尻北)	金澤 陽貴 (経済2・春日丘)	石川 明彦 (法3・藤枝明誠)	松井 充基 (文3・三重県立上野)
武石 郁文 (理工2・新潟第一)	小林 聖 (理工2・岡山朝日)	小松 佑史 (理工3・名古屋西)	小瀨 崇裕 (法3・洛南)
渡辺 愛 (理工2・新島学園)	武田 直大 (文2・洛南)	奈須 浩泰 (理工3・延岡)	澤田 拓弥 (理工2・開明)
安村 真也 (法2・豊田西)	多治見真孝 (理工2・帝京可児)	高田 秀平 (法3・鳥取西)	弓中 光雄 (理工2・岸和田)
足立 挑 (文1・同志社)	梅野 哲平 (理工2・西京)	伊藤 見大 (経済2・郁文館)	寺沢 伸太 (理工2・洛南)
青山 周平 (文1・南山)	波多野源紀 (法1・安芸府中)	鈴木 崇大 (商2・千葉県立柏)	藤井 隆亮 (理工1・同志社)
後藤 大介 (理工1・北摂三田)	北園 雄汰 (理工1・香住丘)	山本 祐輝 (理工2・明治学園)	波多野航平 (理工1・春日丘)
横山 将之 (経済1・南山)	工藤 優也 (文1・岩手)	木平 良史 (法1・伊那北)	久保 雄一 (経済1・関大北陽)
	森下 拓矢 (理工1・科学技術)	桑原 大典 (理工1・虎姫)	中村 直樹 (法1・松陰)
	沖村 明彦 (経済1・柳井)	間宮 樹 (経済1・清風)	谷口 充弘 (理工1・洛北)
		正木 伸吾 (理工1・関西創価)	
		西垣 友裕 (法1・清風)	
		山口 巧 (文情1・桑名)	

MANAGER

福田 実奈 (心理4・同志社)
徳升 沙妃 (同女表象文化2・県立富山南)
金子 未来 (文1・新潟江南)



氷ノ山・後山・那岐山国定公園 / 八千高原

角野山荘

林間学校
合宿
スキー

〒667-1100 兵庫県養父市八千高原
TEL 079 (667) 8636 FAX 079 (667) 8522

URL: <http://www4.ocn.ne.jp/~kadono>

謝 辞

この度は、第65回全日本合唱コンクールへの遠征、並びに第108回同志社グリーンクラブ定期演奏会に、数多くのご協賛を賜り厚く御礼申し上げます。今後とも同志社グリーンクラブをご支援いただきますようお願い申し上げます。皆様のますますのご発展とご健勝を心よりお祈り申し上げます。

同志社グリーンクラブ

OB協賛名簿 [敬称略]

前窪 一雄 (昭和18年)	林田 慎也 (昭和38年)	館 和道 (昭和42年)	須藤 彰治 (昭和59年)
長島 俊司 (昭和24年)	高田 一三 (昭和38年)	中根 敏雄 (昭和43年)	西山 勲 (昭和59年)
真下喜二郎 (昭和26年)	岩木 六馬 (昭和39年)	深木善治郎 (昭和43年)	鋒山 琢磨 (昭和59年)
伴 善也 (昭和26年)	後藤 健夫 (昭和39年)	川上 貴裕 (昭和43年)	辻 透 (昭和60年)
福永 嘉彦 (昭和26年)	西川 紀行 (昭和39年)	小瀬 昉 (昭和44年)	西尾 強志 (昭和60年)
日下部吉彦 (昭和27年)	畑中 宣彦 (昭和39年)	藤田 和久 (昭和44年)	梅田 隆司 (昭和63年)
都木 直文 (昭和27年)	牧田 勝久 (昭和39年)	松本 公郎 (昭和44年)	竹内 和朋 (昭和63年)
鈴木 健三 (昭和29年)	牧野 章造 (昭和39年)	織江 信 (昭和45年)	八幡 諭 (昭和63年)
吉川悟一郎 (昭和29年)	松本 慎一 (昭和39年)	大西 秀孝 (昭和46年)	松本 千尋 (平成1年)
二橋 英雄 (昭和29年)	山中 信興 (昭和39年)	小石伊久男 (昭和46年)	栗田 陽一 (平成2年)
澁谷 昭彦 (昭和31年)	大熊 政次 (昭和40年)	木村雄二郎 (昭和48年)	岩田 正之 (平成3年)
橘 守 (昭和31年)	川北 純二 (昭和40年)	橋本 晴海 (昭和49年)	浅海 誠 (平成6年)
野村 忠 (昭和31年)	山 泰夫 (昭和40年)	入江 隆生 (平成10年)	淵本 友隆 (平成15年)
原 忠和 (昭和31年)	山田 至孝 (昭和40年)	水谷 智一 (平成15年)	藤谷 真 (平成17年)
高木 勝元 (昭和32年)	岸本 修一 (昭和40年)	高谷 博次 (昭和52年)	山中 彰 (平成20年)
湯浦 章 (昭和32年)	竹上 一郎 (昭和40年)	山下 裕司 (昭和52年)	坂井 良行 (平成21年)
楠原 通弘 (昭和33年)	土生 邦彦 (昭和40年)	山本 英司 (昭和52年)	諸岡 大剛 (平成21年)
村中 裕 (昭和34年)	大原 康弘 (昭和41年)	徳山 康彦 (昭和53年)	生駒 実 (平成22年)
森田 秀夫 (昭和34年)	影田 武道 (昭和41年)	松本潤一郎 (昭和53年)	小田 和司 (平成22年)
芳崎 榮治 (昭和34年)	北村 徹男 (昭和41年)	森島 敏夫 (昭和53年)	竹中悠一郎 (平成22年)
砂原 和彌 (昭和35年)	小亀 豊 (昭和41年)	福澤 敬 (昭和54年)	祝原 直正 (平成23年)
川添 正 (昭和36年)	小室 泰司 (昭和41年)	山田 浩二 (昭和54年)	西田 拓也 (平成23年)
山田 英二 (昭和36年)	滝沢 裕人 (昭和41年)	中山 篤 (昭和54年)	神谷 亮太 (平成24年)
朝比 久雄 (昭和36年)	橋詰 崇史 (昭和41年)	矢ヶ崎一之 (昭和54年)	
浅井 敬壹 (昭和37年)	小川 徹 (昭和41年)	梶浦 義人 (昭和55年)	
三宅 健司 (昭和37年)	村西 耕爾 (昭和41年)	芦田 直幸 (昭和57年)	
幸田 長明 (昭和38年)	木下 利彦 (昭和41年)	北尾 俊明 (昭和57年)	
田村 康浩 (昭和38年)	栗山 昭男 (昭和42年)		
二沢 進 (昭和38年)	澁谷 和彦 (昭和42年)		



王朝文化の
匠の技のもと
宇治茶文化
を体験ください。



京都本店
京都市四条通富小路角
TEL 075 (221) 2920
<http://www.fukujuen-kyotohonten.com>



宇治茶づくりを
ご体験ください。
宇治茶工房
宇治市宇治山田10番地
(宇治川朝霧橋決)
TEL 0774 (20) 1100



宇治茶銘葉「宇治のみどり」
宇治茶菓子工房
宇治市宇治蓮華35
(平等院表参道)
TEL 0774 (28) 6810
<http://www.ujikoubou.com>

CHA研究センター 京都府木津川市相楽台3-1-3
(関西化学術研究都市内) TEL 0774 (73) 1200

本社・工場 京都府木津川市山城町上翁東作り道11
TEL 0774 (28) 6810
<http://www.fukujuen.com>

名物 田毎そば



KYOTO 御蕎麦 SINCE 1867

三条本店 三条通寺町東入 ☎221-3030

府庁前店 京都府庁正門前 ☎255-7775

●営業時間 午前11時～午後9時迄

きらめく瞬間を未来に伝えたい。

あなたのきらめくその一瞬を素敵にとらえる。

未来に残す素敵な記念写真をお届けするために、

いつもいっしょうけんめいの大阪フォトサービスです。



OSAKA PHOTO SERVICE
株式会社大阪フォトサービス

〒550-0023 大阪市西区千代崎2丁目20-9
TEL. 06-6581-7005 FAX. 06-6581-7033

<http://www.osakaphoto.co.jp/> E-mail: sales@osakaphoto.co.jp

Webに答えを。

1,200サイト以上を作ってきた私たちだからこそ出せる「答え」がある。



株式会社モノサス
〒151-0053 東京都渋谷区代々木3-9-5
電話：03-5308-1510 ファクス：03-5308-1511
<http://monosus.co.jp>

コンサートビデオ 撮影・制作



ブルーレイ DVD CD

本日も撮影中

本日のコンサート撮影通算 228 回目

アマチュア音楽家の記録残します

同志社グリーンクラブ昭和44年卒
藤田和久

ビデオ工房スピカ

〒563-0036 池田市豊島北2-3-23 電話 072-763-2510 FAX 763-2513

メール svw@cup.com ホームページURL www.spica-video.ne.jp

あなたの街のカーディーラー

長いおつきあいを考えます

田中モータース

各種新車, 中古車販売

取扱保険会社：損保ジャパン, あいおいニッセイ同和損保

〒503-1316
岐阜県養老郡養老町押越 981 番地 5
TEL: 0584-32-0289

「私達は、居酒屋のおいしさを追求し、
居酒屋の楽しさを大切に、
元気を提供します。」

京都市中京区丸太町通西洞院北東角
(府庁前交差点スグ)
PM 5:00~AM 2:00 (L.O. AM 1:30)
TEL: 075-255-4415

居酒屋 萬正

金城学院グリーンクラブ第34回定期演奏会
とき 2013年3月26日(火) 18:00開演 17:15開場
ところ 愛知県芸術劇場コンサートホール
出演 金城学院中学校グリーンクラブ
金城学院高等学校グリーンクラブ
賛助出演 金城学院大学グリーンクラブ エシヨコル
指揮 小原 恒久 宮本 伶子
ピアノ 森 貴美子 柳河瀬 貴子
ドラムス 小村 啓一 全自由席 500円

<プログラム>
コチレーリ: 宗教曲集 水下 夜子: 「春二部」
石黒品: 「ハッシャパイ・ソングス」 小崎啓一編曲: ビートルズ・ふたたび
横山 潤子: 「笑いのコーラス」より ホフ・チルコット: 「故郷」
主催 金城学院グリーンクラブ 後援 朝日新聞社 愛知県合唱連盟
お問い合わせ 052-931-0821 金城中 小原

小児科 内科 **中村 医院**
医学博士 中村 育子
茨木市太田1丁目13-26
TEL (072) 625-3591 番

NET 合宿・ゼミ旅行
温泉・ボード
気軽にご相談下さい!
日本教育旅行
〒600-8155 京都市下京区西玉水町 287
TEL: 075-351-0405
HP: <http://www.net-freeway.com>
担当者: 小林 未奈

K-1 パーティ ツアー
部長 津代 健
TSUSHIRO TAKESHI
(有) ケイワントラベル関西 大阪府知事登録旅行業第3-2085号
〒550-0013 大阪市西区新町 1-24-8 マッセノース四ツ橋ビル605号
TEL 06-4390-7750 FAX 06-4390-7760 E-mail t.tsushiro@k-1travel.com
携帯 090-9710-5513 takez7@ezweb.ne.jp

純人の酵素
酒造の歴史 歴史・醸造の歴史
醸造技術を用いて酒造の歴史をもとに
つくり出した健康食品。クオリティを
ない酒造の歴史の知識がここにありませう。

清酒「歡喜光」
全日本の伝統が生きた
うまい酒
全日本の白米をそのま
ま熟成した純粋な酒
です。すきやうの味に
もコクのある味わいは、
酒造の歴史の知識がこめ
込まれていて、味わ
い深く感じられます。

澤田酒造株式会社
奈良県生駒市五段空六丁目167番地
TEL: 0745-78-1221 FAX: 0745-76-0005
<http://www.kankko.jp>

音声クリニック
林耳鼻咽喉科

	月	火	水	木	金	土
9:30~12:30	○	○	○	×	○	○

京阪電車「枚方市」下車。市役所の方向に徒歩2分。
ひらかたサンプラザ1号館4階
TEL. 072-846-2155
<http://www5.ocn.ne.jp/~rhayashi>

www.raise-lien.com
Hair & Make
raise
〒603-8165 京都市北区北大路通堀川西入南側ウイングベル紫野 1F
TEL / 075-451-0777 MAIL / info@raise-lien.com
[定休日] 月曜日
[営業時間] 火~土 10:00~19:00 日 10:00~18:00 **新規の方 ALLメニュー20%off**

■定期演奏会、おめでとうございます。■
真宗大谷派
智幢山廣隆寺
~いま、いのちがあなたを生きている~
069-0371
北海道岩見沢市幌向1条1丁目67
電話 0126-26-2440 FAX 0126-26-6735

ステージが映える衣装
お一人お一人の動きに合わせてお創りする衣装
男声ステージコート・・・¥16000、より
ネクタイ各種・・・¥800、より
女声ブラウス・・・¥5000、より
ロングスカート・・・¥9000、より
ロングドレス・・・¥18000、より

司屋株式会社
大阪市北区芝田1-6-8
TEL 06-6372-2420
阪急梅田駅茶屋町西出口北へすぐ

ピアノ楽譜の専門店
CRESCENDO
クレシェンド
<http://www.panamusica.com>
TEL 075-959-0070

合唱楽譜の専門店
PANAMUSICA
パナムシカ
<http://www.panamusica.co.jp>
TEL 075-952-8762

楽譜は楽譜の専門店で

FamilyMart
烏丸今出川店
地下鉄「今出川駅」より徒歩1分!
☎: 075-451-0045

学生コンパ・忘年会・新年会には!
とー
定休日・毎週月曜日
営業時間・11:30~14:30
16:30~22:30
京都市中京区富小路四条上ル
TEL. 075-223-0338
FAX. 075-255-2779
宴会5名様より百名様まで承ります
コース2,415円より ご予算に応じ相談させていただきます

同志社大学継志館 Fitness
Doshisha Univ. Keishikan
上京区新町通今出川下る TEL(075)251-3293 FAX(075)251-3289

ウェディング キリスト教精神
を心にとめ結婚のときを迎えたいと
希望される、同志社の卒業生にクラ
ーク・チャペルを開放しております。

損害保険・生命保険代理・マンション斡旋・
人材派遣・施設管理・プール・フィットネス
(株)同志社エンタープライズ
(学校法人 同志社 100%出資)
TEL(075)251-3027 FAX(075)251-4044

同志社から**3分!** JR同志社前駅よこに申込所あります
田辺キャンパス

山城田辺自動車学校
0120-398046 <http://www.8046.com>

同志社グリーンクラブ
依頼演奏募集中!!

同志社グリーンクラブは
随時依頼演奏を募集しています。
結婚式・興添え・演奏会など
様々なご要望にお応えいたします。
ご連絡はホームページ
(<http://gleeclub.jp/>)より
お願いいたします。